

調査件名

地点番号（地盤高）試料番号（深さ）

I. 現場記録

採取年月日		担当者	
ボーリングの方法		ハンドフィード式, ハイドロリックフィード式, オーガーボーリング, その他:	
掘削流体の種類			
サンプリングの方法		固定ピストン (エキステンションロッド式, 水圧式), ロータリー式二重管, ロータリー式三重管, ロータリー式スリーブ内蔵, その他:	
グサ チン ユ ー リ ン グ	長さ mm	外径 mm	内径 mm
	肉厚 mm	刃先肉厚 mm	刃先角度 度
	内径比 %	材質	断面積比 %, 内径差
サ ン プ リ ン グ	サンプラー押込み長さ H cm	試料採取長 L cm	採取率 L/H %
	サンプリング状況 ¹⁾		
	シールの方法	刃先部シール厚さ cm	上部シール厚さ cm
	サンプリングにおける異常の記載 ²⁾		
	凍結処理の記録	凍結前質量 g	凍結後質量 g
		排水量 ml	膨張量 mm
	土質名称	現場での保管方法	
試料の輸送方法	梱包: 有, 無 輸送: 乗用車, トラック便 (借上, 混載), 航空便, 船便, 人力		

II. 室内記録

試料到着年月日	担当者
試料押出し年月日	試料押出し方法
室内での保管方法	縦型, 横型 刃先方向, 頭部方向

深さ m		備考
cm	10 20 30 40 50 60 70 80 90	A欄記号 (供試体選定位置の表示) — 試料の切断箇所 C: 圧密試験 D: 一面せん断試験 T: 三軸圧縮試験 U: 一軸圧縮試験 P: 物理試験 Sp: 保存材料
A		B欄記号 (試料状態のスケッチ) ☒ パラフィン, ☒ 礫, ☒ 砂 シルト, 粘土, 土丹, 軟岩 YYY ビート, 有機物, ☐☐☐ 貝殻 / 試料中のクラック 注) スライムおよび乱れている部分の表示はその位置と範囲をB欄中にスケッチし, C欄の左端にスライムか乱れている部分かを記す。
B		
C		
		C欄記号 (観察記録) 色, 硬さ, 砂の薄層, レンズの発達状況, 有機物, 貝殻の混入量の度合, サンプリングチューブの状態およびシールの状況について記す。また, 円は必要に応じて切断位置の断面をスケッチする。

特記事項

1) サンプラーの押込み方法, 押込み荷重, ロッドの回転数, 泥水の濃度, 送水量などについて記載する。
2) ボーリング機械の浮き上がり, 刃先の変形, 引上げ時の試料の脱落, その他の異常について記載する。